

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの回収作業を行うとともに、刈り取ったヨシは廃棄物として単に処分するのではなく、リサイクルし、有効に活用しました。

また、県内の児童・生徒が、ヨシの刈取りやリサイクルを体験する機会を設けました。

2 平成28年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

①ヨシの刈取り

区 域	面積 (m ²)	重量 (kg)
灘崎北七区	30,990	32,000
八浜・水鳥親水公園	900	1,600
合 計	31,890	33,600

②ごみの回収

分 類	可燃物	ガラスくず	空き缶	廃プラスチック類	合計
数量 (kg)	260	60	30	40	390

<ヨシの刈取り>



<ごみの回収>



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシは、果樹農園等でマルチング材^{*}や堆肥として再生利用しました。

また、刈り取ったヨシを材料にしたヨシ紙製の回覧板を作成し、児島湖周辺の町内会に配付し、児島湖やヨシの浄化作用に対する関心を高めました。

^{*}マルチング材・・・土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材

再生利用の用途	ヨシの使用量 (kg)
マルチング材	26,800
千両ナス栽培 (堆肥等)	5,800
回覧板作製用紙	1,000
合計	33,600

〈マルチング材として利用したピオーネ農園〉



〈ヨシ紙で作成した回覧板〉



(3) ヨシの刈取り体験・工作体験

児島湖に親しんでもらうとともに、廃棄物のリサイクルなど環境保全に関する関心を高めるために、高校生を対象にしたヨシの刈取り体験を、また小学生を対象にしたヨシを利用した工作体験を実施しました。

①ヨシ刈り体験

「環境に配慮したものづくり」に取り組んでいる、岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生40名の皆さんが、ヨシの刈取りを体験しました。

また、ヨシを刈り取った場所に散乱していたごみを回収しました。

〈ヨシ刈り体験を行う津山工業高校の皆さん〉



〈回収したごみ〉



② 工作体験

小学生の皆さんに、刈り取ったヨシを利用したヨシ笛や額縁、灯籠などの工作に取り組んでもらいました。

学校名	学 年	参加児童	備 考
岡山市立七区小学校	3 年生	20 名	—
玉野市立大崎小学校	3 年生	18 名	—
玉野市立八浜小学校	4 年生	26 名	—
真庭市立川東小学校	4 年生	19 名	参観日での実施のため保護者 19 名も参加

〈ヨシの工作を行う八浜小学校の皆さん〉



〈ヨシを使った灯籠〉



【担当部署】 環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班